

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5総合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

日欧路線維持に対する航空産業への経済的支援を！ ～斉藤国交大臣に稲富修二議員が強く要望！～

4月1日(金)、航空連合政策議員フォーラム事務局長の稲富 修二(いなとみ しゅうじ)衆議院議員が、衆議院国土交通委員会で斉藤国土交通大臣に対し、ロシア上空を迂回するルートで日欧路線を運航している本邦航空会社への経済的支援の必要性について、航空連合の認識を踏まえて強く要望しました。



稲富 修二(衆)
フォーラム事務局長

- ・本邦航空会社は自主的に欧州線を迂回ルートで運航しているが、燃油費の増加などにより**2～3割のコスト増**になっている。
- ・**コロナワクチンの大部分を欧州から輸入**している。政府として日欧路線の公益性をどのように認識しているか。
- ・**持続可能な対ロシア制裁を維持**するには、高い公益性もふまえ、**航空会社へのさらなる経済的支援が必要**ではないか。

- ・日欧間の航空路線は、日本の社会経済活動を支える重要な路線であり、**極めて公益性が高い**。
- ・国としては、これまでも様々なかたちで踏み込んだ支援をおこなってきたが、引き続きウクライナ情勢が航空業界に与える影響を注視し、事業者の声もよく聞きながら、**適時適切に対処**していきたい。



斉藤国交大臣